

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道135号 宇佐美～網代バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	自：静岡県伊東市宇佐美 至：静岡県熱海市網代		延長	1.9 km		
事業概要 一般国道135号は、静岡県下田市から神奈川県小田原市に至る延長約117kmの主要な幹線道路であるほか、地域の産業や生活に欠くことの出来ない重要な路線である。宇佐美～網代バイパスは、一般国道135号の狭隘区間を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした延長1.9kmの2車線道路である。						
S63年度事業化	都市計画決定 (都計なし)	H1年度用地着手	H2年度工事着手			
全体事業費	約82億円	事業進捗率	86%	供用済延長	1.1 km	
計画交通量	19,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 6.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 13/110億円 (事業費：11/106億円 維持管理費：2/4億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 79/232億円 (走行時間短縮便益：78/225億円 走行費用減少便益：1/6億円 交通事故減少便益：0/1億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する） 他7項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 一般国道135号は、地域交流の促進、地域経済の発展等に重要な役割を果たすことが期待されており、伊東市及び熱海市より早期整備の要望（伊東市：平成15年7月16日、熱海市：8月1日）を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 観光バス等大型車両のすれ違い困難が解消されず、交通渋滞は依然として深刻である。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成5年度に宇佐美工区（L=1.1km）を完成供用させている。平成5年度に網代工区にも工事着手しており、用地買収については既に完了している。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度に網代トンネルに工事着手し、平成17年度の完成を予定している。その後、取合い部等の道路工を施工し、平成18年度に全区間の供用を図る予定である。						
施設の構造や工法の変更等 網代第2トンネルについて、入札時VE方式を実施する等コスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図 						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。